

マイナー作物への農薬の適用拡大

使用できる農薬を増やして生産安定に貢献

研究開発の背景

- ◇農薬取締法により、農薬は適用作物以外の農作物に使用することができない。
- ◇国内の生産量が3万トン以下のマイナー作物は、適用がある農薬の種類が少なく、病害虫の防除が十分にできない。
- ◇県特産マイナー作物の安定生産のため、農薬の適用拡大が望まれている。

研究成果の内容

本県特産物に延べ40剤を農薬登録

- 当試験場が実施した薬効・薬害試験により適用拡大された農薬
豆類（未成熟）、さやえんどう、実えんどうに対して延べ28剤が適用拡大された。
- 当試験場が実施した作物残留分析により適用拡大された農薬
実えんどう、ししとう、さんしょう（果実）、かき（葉）などに対して延べ14剤が適用拡大された。

表1 薬効・薬害試験または作物残留分析により適用拡大された農薬(2002～2016年)

作物名	適用病害虫名	農薬名	薬効 薬害	作物 残留	作物名	適用病害虫名	農薬名	薬効 薬害	作物 残留
豆類(未成熟)	アザミウマ類	ディアナSC	○		実えんどう	灰色かび病	ゲッター水和剤	○	
	ハモグリバエ類	プレオフロアブル	○			灰色かび病	ロプラール水和剤	○	○
	ハモグリバエ類	ディアナSC	○			灰色かび病	アミスター20フロアブル	○	
	ハダニ類	コロマイト乳剤	○			ナモグリバエ	ハチハチフロアブル	○	
	ハスモンヨトウ	プレオフロアブル	○			ハモグリバエ類	スピノエース顆粒水和剤		○
	ハスモンヨトウ	ディアナSC	○			ハダニ類	コテツフロアブル	○	
豆類(未成熟、た だし、えだまめ、 さやいんげん、さ やえんどうを除 く)	立枯病	ベンレート水和剤	○		ハスモンヨトウ	マトリックフロアブル	○	○	
	アブラムシ類	モスピラン水溶剤	○		ハスモンヨトウ	プレバゾンフロアブル5	○	○	
	ハスモンヨトウ	フェニックス顆粒水和剤	○		ししとう	白絹病	リゾレックス水和剤		○
	ハスモンヨトウ	フェニックス顆粒水和剤	○			チャノキイロアザミウマ	コテツフロアブル		○
	灰色かび病	アミスター20フロアブル	○		チャノキイロアザミウマ	オルトラン水和剤		○	
	灰色かび病	セイビアフロアブル20	○		アブラムシ類、ア ザミウマ類	モスピラン水溶剤		○	
立枯病	ベンレート水和剤	○		さんしょう(果実)	ミカンハダニ	カネマイトフロアブル		○	
アブラムシ類	モスピラン水溶剤	○			ミカンハダニ	ダニエモンフロアブル		○	
ナモグリバエ	ハチハチフロアブル	○			さび病	ストロビードライフロアブル		○	
さやえんどう	ハダニ類	コテツフロアブル	○		かき(葉)	うどんこ病、落葉病、 炭疽病、灰色かび病	ストロビードライフロアブル		○
	ハスモンヨトウ	マトリックフロアブル	○			カキノヒメヨコバイ	モスピラン水溶剤		○
	ハスモンヨトウ	フェニックス顆粒水和剤	○		いちじく	疫病	ランマンフロアブル		○
	シロイチモジヨトウ	フェニックス顆粒水和剤	○						
	ハスモンヨトウ	フェニックス顆粒水和剤	○						
	ハスモンヨトウ	プレバゾンフロアブル5	○						
一年生雑草	トレファノサイド乳剤		○						

期待される効果

☆マイナー作物の主要な病害虫を効果的に防除できる。